

胃癌治療の最前線

切除不能・再発進行胃癌に対する化学療法と周術期補助化学療法のこれまでと、新たに有用性が証明された化学療法を詳説し、バイオマーカーを用いた周術期治療の個別化の可能性とあわせて、胃癌に対する集学的治療の今後の可能性について講演いたします。

神奈川県立がんセンター 消化器外科部長

講師 **大島 貴 先生**

(おおしま たかし)

略歴

- 1994年 福島県立医科大学医学部 卒業
- 1998年 横浜市立大学大学院博士課程 修了
- 2001年 横浜市立大学附属市民総合医療センター
消化器病センター外科
- 2003年 福島県立医科大学 第二外科 博士研究員
- 2005年 南カリフォルニア大学 リサーチフェロー
- 2009年 横浜市立大学附属市民総合医療センター
消化器病センター 准教授
- 2014年 横浜市立大学医学部 外科治療学 准教授
- 2018年 神奈川県立がんセンター 消化器外科 胃食道 主任部長 (現職)



日時：2019年12月17日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：河野浩二 先生 (消化管外科学講座)

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 2020年1月23日(木) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
(講師)山形大学医学部附属病院 病院長 根本 健二(ねもと けんじ)先生